

ご家族の皆様へ

令和4年 12月 23日

### 面会の制限についてのお願い

新型コロナウイルスの感染状況におかれましては、ご家族の皆様にご心配とご不便をおかけしております。

これまで白寿荘で発生した施設内感染計三回の感染ルートを改めて検証しますと、1回目(令和3年8月)は、デイサービスに通われていた利用者様からの感染拡大、2回目(令和4年4月)は、デイサービスに通われていた利用者様からの感染拡大と、外出された利用者様からの感染拡大、3回目(令和4年11月)は外出された利用者様からの感染拡大と、ご家族様との面会の際に感染し感染拡大した可能性が濃厚です。白寿荘は168名の利用者様が生活する大所帯の施設ですので、一人でもウイルスを持ち込んでしまわれると、あっという間に数十人規模で感染が拡大していきます。この度の感染拡大を教訓に、ご家族との面会について改めて制限を設けることにいたしました。

○ 当面の間、玄関でガラス越しの面会を原則とします。

※ できる限り10分程度でお願いします。

ご家族の皆様におかれましても、たまには家族の顔が見たい、声が聴きたいという気持ちは痛いほどよく分かります。

とはいえ、これまで白寿荘での計3回の感染で、複数名の利用者様が命を落としており、いまだに後遺症に苦しんでいる利用者様も多いことから、まだまだコロナは「ただの風邪」ではなく、お年寄りにとっては「命に届く病」であることは間違いのないことだと認識しております。

コロナがお年寄りにとっても「ただの風邪」と言えるような状況になりましたら、改めて面会の制限を解除してまいりますので、もうしばらくの間、ご理解とご協力の程をお願いいたします。

社会福祉法人 愛隣会  
養護老人ホーム 白寿荘  
施設長 海老沼 達雄